








Smile Up Spiral ちゃんと幸せで成長するいい会社づくり

～地方企業の成長モデルローカルメジャーを目指して～

	<p>Speaker</p> <p>株式会社WELLZ UNITED 代表取締役社長 井上 大輔 氏</p> <p>2003年6月より井上株式会社（1947年創業）の代表取締役に就任。電気設備の総合ソリューション事業から農業・飲食業にまで事業の幅を広げ、長期的視野に立って安心や期待を頂ける企業づくりに取り組んでいる。</p>	<p>オープニング・対談・まとめ</p> <table border="1"><tr><td data-bbox="951 528 1086 669"></td><td data-bbox="1142 528 1278 669"></td></tr></table> <p>株式会社タナベコンサルティング コーポレートファイナンス大阪本部 本部長代理 濱岡 裕明 / 部長 村上 知</p>		
				

<登壇者会社概要>

株式会社 WELLZ UNITED
設立：2021年4月
所在地：京都府福知山市
事業内容：グループ企業のマネジメント
資本金：4,000万円
社員数：6名

井上株式会社
創業：1947年1月
所在地：京都府福知山市
社員数：104名
資本金：4,000万円
事業内容：電気設備卸・制御技術設計
ソフトウェア開発など電気設備に関する課題解決

親族内承継のモデル事例の発信

事業承継・M&A等の理解促進に向けた無料ウェビナー1つ目のテーマ「ベンチャー型事業承継」が2022年12月13日（火）に開催された。当日は株式会社WELLZ UNITEDおよび井上株式会社代表取締役社長井上大輔氏が登壇された。

親族内承継において、若手後継者が、家業が持つ有形無形の経営資源を最大限に活用し、新規事業、業態転換、新市場開拓など、新たな領域に挑戦する事業承継モデルを紹介した。ウェビナーには42名（事業者22名・支援団体18名・自治体2名）の申し込みがあった。



発信内容の概要

会社を19年前に2代目の社長である実父が病に倒れ、自分が継がなければ後がないという会社の状況を聞き、これまでの人生の恩返しとして経営を引き継ぐ覚悟を決めた。

当時の経営状態は危機的状況の中で、有形・無形の資産を把握して丁寧に経営をすることを意識して、本質的な課題を見つけ一つ一つ丁寧に対応してきた。価値観の統一には時間がかかったが、着実に前に進めていき、事業も電材卸の事業から電気システムソリューションが提供できるようになり、近年は地方創生事業としてHR支援事業や廃校を活用したイチゴ栽培やクラフトビール醸造にも着手している。

学びのポイント

井上氏の発信から学ぶべき点を3点で整理する。

1つ目は、現状の本質を見抜いたうえでの第二創業宣言によるビジョン・価値判断基準の明確化が重要であるということである。事業承継は、会社の風土を変革させるチャンスであるが、ゴールではない。先代の経営を単に引き継ぐのではなく、後継者としてどのように自社を進化させるかという「覚悟」と「志」が必要である。

2つ目は、ビジョン・価値判断基準を組織に浸透させるコミュニケーションのあり方が非常に参考になった。社員を知ることや、ビジョンや価値観を共有することに時間をかけてでも社員一人一人に向き合い、SNS・幹部参画型でつくる理念・方針BOOKなどの仕組みで経営していくことも重要である。同族企業であるからこそ中長期的な経営ができる。短期的に成果が上がらなくとも本質を突いた対策を辛抱強く進めていくことが重要である。

3つ目は、地方企業における経営スタイルのあり方として、事業の多角化・多様性の確保が重要であるという視点である。同社はそれをローカルメジャーと表現し、地域の課題を数多く解決するグループ体を目指している。

事業承継は企業のターニングポイントになる。親族内承継においては、後継者が覚悟と志をもって、ベンチャースピリッツをもって未来を切り開いていくことが重要である。